

【2023 SyDE 産官学協働研修 実施報告】2024.2.16~2024.2.22

国立研究開発法人産業総合研究所地質情報研究部門海洋地質研究グループでの産官学協働研修は、海底地形観測の原理から始まり、海底地形データや海底表層構造データの取得方法について学びました。その後、データの前処理や処理方法、GMT (Generic Mapping Tools) を使用したデータの可視化手法を習得し、基本的な等深図や陰影図の作成方法を身につけました。さらに、高分解能サブボトムプロファイラー (Subbottom Profiler ; SBP) 探査などの観測技術について理解を深め、SBP 断面解釈の実習を通じて海底地形データや海底表層構造データから有益な情報を抽出・定量化する手法を学びました。

この研修を通じて、海底地形データと海底表層構造データの取扱いと解析手法を習得し、これらのデータから有益な情報を抽出するスキルを身につけることができました。また、今後は、GMT や研修で得た知識と技術を、博士研究や学术论文の執筆などに活用していきたいと考えています。

研修を遂行するにあたり、多くの方々に支えられ、ご協力いただきましたことを心より感謝申し上げます。国立研究開発法人産業総合研究所地質情報研究部門の研究部門長である荒井晃作博士には、研修を引き受けていただき、また研修期間中には温かいサポートをいただきました。深く感謝いたします。同研究部門海洋地質研究グループ主任研究員である三澤文慶博士には深い感謝の意を表します。この研修期間中において、何事にも丁寧にご指導いただきました。わかりやすい説明と的確なアドバイスをいただき、新しいスキルや知識を効果的に習得することができました。同じく資源テクトニクス研究グループ研究員の高下裕章博士には PyGMT や個人 PC の不調に関する問題を解決していただきました。心より感謝いたします。

石垣暁正 (理学研究科・地学専攻・D3)

